

複合性局所疼痛症候群と報告された症例一覧

専門家の評価を踏まえた事務局評価

No.	年齢・性別	既往歴	ワクチン名	経過	副反応名	ロット	転帰	CRPSの診断について	ワクチン接種との因果関係について
1	40代・女性	発酵食品アレルギー	サーバリックス	<p>1、2回目接種時は、痛みがあるが1週間くらいで回復した。 3回目接種後、夜から注射部位の痛みを感じ、その後増強、上腕挙上困難となる。接種部位左三角筋上部(肩峰にごく近接) 鎮痛剤を処方されるが痛みとれず。 接種6日後、MRIの結果、肩峰下滑液包に炎症が確認された。 接種8日後、左肩に関節内注射施行。嫌み少し軽減。 接種16日後、左肩の疼痛、挙上制限続いたため再度関節内注射施行。 接種42日後、左肩関節痛あり。可動域はフル近くに改善。 接種56日後、肩関節痛軽度残存。MRI、STIRで高信号。CRPO1。 接種82日後、右膝の激痛。 接種98日後、ひざの関節が腫れている。 接種99日後、関節内注射後軽減、肘関節痛あり。MRI上明らかな炎症所見なし。</p> <p>症状発現から6ヶ月後、可動域制限を伴う中等度の疼痛が持続。筋力低下あるいは感覚障害など腕神経そう神経炎を示唆する神経学的異常は認められなかった。 症状発現から7ヶ月後、関節鏡視下手術施行。関節窩上腕関節の上方関節唇周囲に滑膜炎が観察された。関節鏡下滑膜切除術及び肩峰下除圧を施行。 手術後、完全に回復した様子。</p>	骨萎縮 関節周囲炎 関節炎 滑液包炎 滑膜炎 関節痛 注射部位疼痛 注射部位運動障害 注射による四肢の運動低下 筋骨格痛 筋骨格硬直 関節痛 関節痛 関節痛 関節腫脹 多発性関節炎 注射部位疼痛 疼痛 複合性局所疼痛症候群 注射部位紅斑 体液貯留 筋炎 筋力低下 四肢痛 注射部位腫脹 腱炎 四肢痛 血沈亢進 C-反応性蛋白増加 疼痛 肩回旋筋腱板症候群 滑膜切除 滑膜障害 炎症 過剰肉芽組	HPVA079BA	軽快 不明 軽快 不明 不明 軽快 軽快 軽快 軽快 軽快 不明 軽快 軽快 不明 不明 回復 軽快 軽快 軽快 不明 不明 軽快 不明 不明 不明	CRPSではない。肩峰下滑液包への誤注の影響がある。	時間的關係からワクチン接種との因果關係は否定できない。

No.	年齢・性別	既往歴	ワクチン名	経過	副反応名	ロット	転帰	CRPSの診断について	ワクチン接種との因果関係について
3	10代・女性		ガーダシル	<p>本剤接種時には、特に疼痛、しびれ、異常症状はなかった。接種2～3分後に左手第一指末端に疼痛としびれ出現し、ぴくつきが出るようになった。手指のしびれを震え、握力の減弱が持続するため大学病院紹介入院。自律神経徴候を伴う神経原性疼痛症候群を発現。</p> <p>接種2日後、症状はほぼ認めない程度に回復しリボトリールとビタミンB12内服開始し退院。</p> <p>接種10日後、自律神経徴候を伴う神経原性疼痛症候群回復。</p> <p>接種58日後、特に問題ないことを確認。</p> <p>接種228日後、2回目接種。接種後特に問題なし。</p>	複合性局所疼痛症候群		回復	<p>情報不足で判断が困難であるが、報告された内容についてはCRPSの判定指標を満たさない。症状の発現と回復過程が早く、典型的なCRPSとは判断できない。</p>	時間的關係からワクチン接種との因果関係は否定できない。
4	20代・女性		ガーダシル	<p>本剤接種1回目、その日に右肩から鼠径部に神経痛のような痛みがあった。</p> <p>本剤接種2回目、左頸部から肩にかけてのしびれあり。痛い時は左腕が挙上困難、めまい、吐き気あり。</p> <p>接種7日後、同部をひねった。</p> <p>接種翌月、随伴症状の嘔気、めまいがひどかった。</p> <p>接種48日後、嘔気あり。</p> <p>日付不明、MRI検査実施。</p> <p>報告時点で、左頸部から肩にかけてのしびれの症状は現在まで続いている。挙上困難、めまい、吐き気、嘔気は未回復。</p>	複合性局所疼痛症候群 神経痛 注射による四肢の運動低下 浮動性めまい 悪心 感覚鈍麻		不明 不明 未回復 未回復 未回復 未回復	<p>情報不足で判断が困難であるが、報告された内容についてはCRPSの判定指標を満たさない。自律神経症状、めまい、嘔吐があり典型的なCRPSとは判断できない。</p>	時間的關係からワクチン接種との因果関係は否定できない。

No.	年齢・性別	既往歴	ワクチン名	経過	副反応名	ロット	転帰	CRPSの診断について	ワクチン接種との因果関係について
5	10代・女性	副鼻腔炎、食物アレルギー(エビ)、発達障害	ガーダシル	<p>患者には、副鼻腔炎、食物アレルギー(エビ)、発達障害の原疾患/合併症があった。</p> <p>ガーダシルを1回目接種(接種部位不明)。</p> <p>接種84日後、ガーダシルを2回目筋肉内接種(接種部位不明)。接種時の痛みは訴えなし。</p> <p>接種143日後、微熱(37.5℃)を認めた。両足のだるさ、重い感じ、痺れが出現。接種医院を受診。内服薬処方。</p> <p>接種146日後、解熱認めた。両下肢の疼痛が出現した。夜間には疼痛増強し、眠れず急病診療所を受診。ロキソプロフェンナトリウム水和物(ロキソニン)処方され帰宅。</p> <p>接種147日後、疼痛が持続する為、接種医院を受診。点滴施行。</p> <p>接種148日後、疼痛及び筋力低下により歩行できなくなった。</p> <p>接種149日後、A大学病院小児科受診。特に何もなかった。</p> <p>接種150日後、B病院(当院)小児科入院。下肢の筋力低下、アロディニア、下肢の腱反射亢進認めた。両下肢疼痛、痛みの数値評価スケール(NRS:Numeric Rating Scale):8(痛みなし=0~これ以上ない痛み=10)。下肢神経伝導速度:正常、心電図:正常。入院中に変化なし。</p> <p>接種168日後、退院。その後、腰から下が痛みのため歩行できず車いすで通学等している。</p> <p>接種202日後、同日時点で両下肢疼痛は未回復であり、複合性局所疼痛症候群は未回復。</p>	複合性局所疼痛症候群		未回復	CRPSの判定指標を満たさない。2回目の接種と症状発現までの期間が2ヶ月あり、潜伏期間が長いことや、両側性の症状が認められることから典型的なCRPSとは判断できない。下肢の深部腱反射亢進は、中枢神経疾患の存在を示唆しており、末梢神経疾患であるCRPSの病態に合致しない。	評価不能